

令和2年11月11日

報道関係者 各位

令和2年11月17日「雲仙・普賢岳噴火30年」を迎えての市長コメントについて

標記の件について、下記のとおり市長コメントをお知らせします。

記

【市長コメント】

平成2年（1990年）11月17日雲仙・普賢岳噴火活動が始まりました。

まだ私は家業の青果店の仕事で市場のセリを行っていた時、突然山に煙が上がったことを同業者や近くの人たちと見上げていたことを今でも鮮明に覚えています。

その後これが未曾有の災害になるとは当時は思っていませんでした。

それから溶岩ドームが姿を現し日増しに大きくなり、崩壊しながら我が愛する故郷を火砕流の劫火で焼き尽くす姿に自分ではいかんともしがたい無力感と自然の脅威をまじまじと感じさせられました。

そうした中、私も当時、消防団員として市民の安全を守るため奔走したことを今でも鮮明に記憶しています。

噴火から30年の節目に、島原市の経済や市民の生活環境を激変させたこの平成の噴火を今後も風化させることなく後世に伝えて行くため、島原半島世界ジオパークを核とした各種事業の推進を引き続き行うとともに火山とともに生きる島原市として、これまでの全国の皆様からのご支援にお応えするため、日本一の自主防災を作り、防災・減災に向けた取組みを今後とも市民皆様とともに進めていきたいと改めて強く思います。

令和2年11月11日

島原市長 古川 隆三郎

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市秘書人事課 秘書広報班 担当：稲田

電話：0957-62-8010

E-mail：hisho@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん